

川柳 さいたま



ケイトウ

まへりあしりあし

願法みつる

十一月号 目次

ひととき、新宿紀伊國屋書店での企画「ほんのまくら」フェアの話が賑わった。「書き出しで選ぶ一〇〇冊」のサブタイトル通り、まさに本の書き出し部分だけが大きく印刷され、題名も作者名も見えぬままにパックが掛かった状態の文庫本なのである。安価だから求めやすいこともあるらしい。作家は、本の書き出しの一行に悩むとは仄聞していたが、これを逆手に取って造語までひねった老舗書店のアイデア勝ちと言うところであろうか。

人口に膾炙された「ほんのまくら」は、名句にも匹敵する。「木曾路はすべて山の中である。」(夜明け前)

本の書き出し所謂まくらに興味を惹かれて求めた一冊からどの様な感興を得ることになるのかは、まさに読者の受け止める場であるから、評価の是非々は自由である。

一句は一幕舞台劇と言われる川柳世界で、川柳人自信の一句も、如何に読者の目を捉えるか、そしてその句を味わってみようとする感興を湧かし得るか否かが、まずは勝負なのかも知れない。まくらの勝負である。

大会や句会での披露は一過性であるため、余韻を得難い。しかし文字化された句では、キヤッチコピーの様に運命的な名句となる可能性がある。そして一瞬の感興が華となることも。うがちの深い川柳は、舞台劇のまくらである。

| | | |
|-----------------------|---------|----|
| 堅太郎句抄(十二) | 表紙 | 2 |
| 巻頭言 まくらということ | 願法みつる | 1 |
| 彩玉集―同人吟 | | |
| あの日あの時「銀座百円カレー」の店 | 中島 英季 | 5 |
| 『かもめ』は喜劇 九品仏川柳会 | やまぐち 珠美 | 6 |
| 雑詠 | 願法みつる選 | 8 |
| 映像コラボ | 石田 正則 | 8 |
| 七七句 | 松田重信選 | 16 |
| 拜啓川柳様 其の三 馴れ初めの巻 | 大塚やまぶき | 19 |
| 交替鑑賞 翔太、二度目の誌面鑑賞 | 松田 重信 | 20 |
| 初歩添削講座「空」雑詠 | 加藤孤太郎 | 22 |
| 題 詠 「びったり」 | 内田 雪彦 | 26 |
| 「残る」 | 金井 春江 | 22 |
| 「満たす」 | 大澤 静江 | 20 |
| さいたま十月句会 | | |
| 時空を超えて | | |
| あなたから わたしから | | |
| 古丘の世界 | 文・今村 寿子 | 33 |
| 花も団子も(終) | | |
| インフォメーション | | |
| 編集さろん | | |
| 句会案内 | | |
| 表紙(題字・清水 美江 写真・千葉 古丘) | 表紙 | 3 |
| | 表紙 | 39 |
| | | 38 |
| | | 38 |
| | | 36 |
| | | 33 |
| | | 28 |

平成24年

11月号 (No.636)

日川協加盟